

既存化学物質審査物質(人健康影響・生態影響)
に係る分解性・蓄積性データ

平成17年9月30日

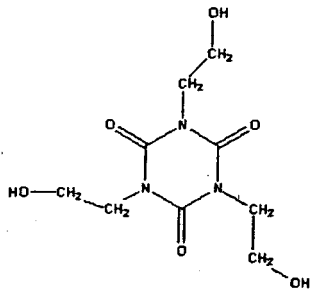
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
1, 3, 5-トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸	昭和54年12月20日	濃縮性がないまたは低いと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	839-90-7
点検対象物質名称	1, 3, 5-トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸
官報公示整理番号	5-1051
官報公示名称	1, 3, 5-トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	0%		2.5%	7.2%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	濃度	魚種
>1000ppm	(1000)mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	2.5ppm	<0.16
第2濃度区	0.25ppm	<1.6

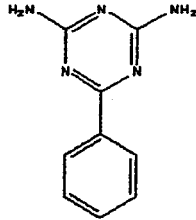
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
6-フェニル-1, 3, 5-トリアジン-2, 4-ジアミン [官報公示整理番号:5-1028]	平成12年3月17日	高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	91-76-9
点検対象物質名称	2, 4-ジアミノ-6-フェニル-1, 3, 5-トリアジン
官報公示整理番号	5-1028
官報公示名称	2, 4-ジアミノ-6-フェニル-1, 3, 5-トリアジン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	28日間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	2%		0%	1%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	分配係数試験

n-オクタノール/水分配係数

最小	最大	平均	試験方法
1.36	1.41	1.38	フラスコ振とう法

総合検索システムへ
91-76-9

前画面に戻る

既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
4-イソプロピルアニリン [官報公示整理番号:3-206] [CAS番号:99-88-7]	平成14年11月8日	難分解性ではあるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

CAS番号	99-88-7
点検対象物質名称	4-イソプロピルアニリン
官報公示整理番号	官報公示名称
3-206	アルキル(C=2~10)アニリン

分解性

判定	難分解性			
試験方法	標準法			
試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度	
標準	4週間	100mg/L	30mg/L	
間接測定	BOD 1%	直接測定	TOC 0%	HPLC 2%

濃縮性

判定	低濃縮性			
試験方法	濃縮度試験			
LC50値(96hr)	魚種			
51.5mg/L	(51.5)mg/L ヒメダカ			
試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
標準	28日間	コイ	開始前 3.46	終了後 3.33
	濃度設定	濃縮倍率		
第1濃度区	100µg/L	4.8 ~ 8.3		
第2濃度区	10µg/L	<5.7 ~ 14		

備考

[定常状態における濃縮倍率]
第1濃度区 6.4倍
第2濃度区 8.0倍

総合検索システムへ
99-88-7

前画面に戻る

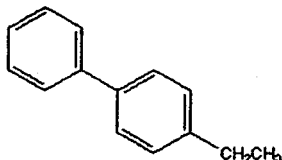
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
4-エチルビフェニル [官報公示整理番号:4-15] [CAS番号:5707-44-8]	平成15年1月17日	難分解性ではあるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	5707-44-8
点検対象物質名称	4-エチルビフェニル
官報公示整理番号	官報公示名称
4-15	モノアルキル(C=1~2)ジフェニル

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	GC
	0%		3%

備考

-逆転条件(閉鎖系)試験結果(4週間)は、分解度BOD:20%、GC:59%であった。

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)		魚種
1.10mg/L	(1.1)mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	42日間	コイ	3.04	3.02

分散剤:HCO-40

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	2µg/L	660 ~ 1600
第2濃度区	0.2µg/L	480 ~ 1200

備考

[定常状態における濃縮倍率]
第1濃度区 1200倍
第2濃度区 840倍

分散剤:ー

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	ー	
第2濃度区	0.2µg/L	180 ~ 1300

備考

[定常状態における濃縮倍率]
第2濃度区 630倍

分散剤:ジメチルスルホキシド

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	ー	
第2濃度区	0.2µg/L	540 ~ 1200

備考

[定常状態における濃縮倍率]
第2濃度区 910倍

総合検索システムへ
5707-44-8

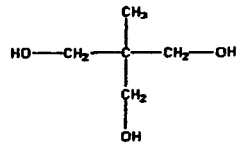
[前画面に戻る](#)

既存化学物質安全性点検データ データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
2-メチル-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパンジオール [官報公示整理番号:2-243]	平成6年12月28日	高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	77-85-0
点検対象物質名称	2-メチル-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパンジオール

官報公示整理番号	2-243	官報公示名称	2-メチル-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパンジオール
----------	-------	--------	-------------------------------

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	TOC	GC
	4%		2%	1%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	分配係数試験

n-オクタノール/水分配係数

最小	最大	平均	試験方法
-0.98	-0.81	-0.95	フラスコ揺とう法

総合検索システムへ
77-85-0

前画面に戻る

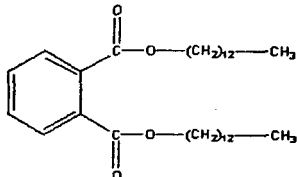
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
ジトリデシル=フタラート [官報公示整理番号:3-1307]	平成13年5月10日	高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	119-06-2
点検対象物質名称	ジトリデシル=フタラート
官報公示整理番号	官報公示名称
3-1307	フタル酸ジアルキル(C=6~20)

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	28日間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD 40, 46, 39%
------	--------------------

直接測定	HPLC 71, 57, 58%
------	---------------------

備考

-逆転条件(開放系)試験結果は、分解度HPLC:66, 84, 69(73)%であった。

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)	魚種
>500mg/L	(500)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
			開始前	終了後
標準	28日間	コイ	2.36	1.9

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1mg/L	<2.6 ~ 3.2
第2濃度区	0.1mg/L	<28 ~ 67

備考

[定常状態における濃縮倍率]
第1濃度区 3.4倍
第2濃度区 69倍

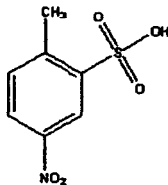
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
2-メチル-5-ニトロベンゼンスルホン酸 [官報公示整理番号:3-2011]	平成12年3月17日	高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	121-03-9
点検対象物質名称	2-メチル-5-ニトロベンゼンスルホン酸
官報公示整理番号	官報公示名称
3-2011	4-ニトロトルエン-2-スルホン酸及び金属塩(Li, Na, K)

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	3%		0%	0%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
326mg/L	(326)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	6週間	コイ	4.1

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	0.5mg/L	<0.4
第2濃度区	0.05mg/L	<4.1

総合検索システムへ
121-03-9

前画面に戻る

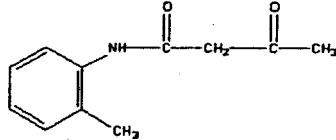
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
2'-メチル(アセトアセチルニリド) [官報公示整理番号:3-204]	平成12年3月17日	高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	93-68-5
点検対象物質名称	N-アセトアセチル-2-メチルアニリン

官報公示整理番号	官報公示名称
3-204	アセト酢酸トルイダド

備考

-当該物質は、昭和52年11月30日に「N-アセトアセチル-2-メチルアニリン:分解性が良好と判断される物質」として公表されていたが、被験物質の変化物が難分解性と判定されたため、濃縮度試験等を実施し、公表したものである。

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD
	17.6%

直接測定	TOC
	35.7%

備考

-被験物質は(汚泥+被験物質)系の試験液中で変化し、o-トルイジン(2-メチルアニリン)(3-0186)を生成し残留した。
-被験物質の変化物2-メチルアニリン(3-0186)が再確認の結果、難分解性と判定されたため、被験物質も難分解性と判定された。

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	分配係数試験

n-オクタノール/水分配係数

最小	最大	平均	試験方法
0.84	0.85	0.85	プラスコ振とう法

総合検索システムへ
93-68-5

前画面に戻る

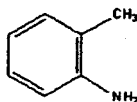
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
o-トルイジン [官報公示整理番号:3-186]	平成12年3月17日	高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	95-53-4
点検対象物質名称	2-メチルアニリン

官報公示整理番号	官報公示名称
3-186	トルイジン

政令番号	化学物質排出把握管理促進法名称
1-225	オルトトルイジン

備考

・当該物質は、以前「2-メチルアニリン:分解性の良好な物質」として公表していたが、この度再試験を行った結果、難分解性と判断されたため、濃縮度試験等を実施し、公表した。

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD (NO2)	直接測定	TOC	HPLC
	5%		1%	0%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	分配係数試験

n-オクタノール/水分配係数

最小	最大	平均	試験方法
1.34	1.35	1.34	フラスコ振とう法

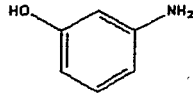
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
3-アミノフェノール	昭和53年12月12日	濃縮性が無い又は低いと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	591-27-5
点検対象物質名称	3-アミノフェノール

官報公示整理番号	官報公示名称
3-675	アミノフェノール

政令番号	化学物質排出把握管理促進法名称
1-21	メタ-アミノフェノール

分解性

判定	難分解性
試験方法	逆転法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	30ppm	100ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	UV-VIS
	0%		12.1%	12.6%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
100ppm	(100)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1ppm	<4
第2濃度区	0.1ppm	<40

総合検索システムへ
591-27-5

前画面に戻る

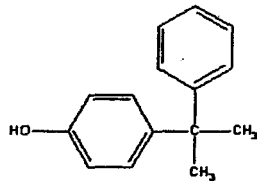
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
4-(1-メチル-1-フェニルエチル)フェノール [官報公示整理番号:4-122] [CAS番号:599-64-4]	平成14年11月8日	難分解性と判断される物質
4-(1-メチル-1-フェニルエチル)フェノール [官報公示整理番号:4-122] [CAS番号:599-64-4]	平成15年10月14日	難分解性であるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	599-64-4
点検対象物質名称	4-(1-メチル-1-フェニルエチル)フェノール[別名:2-フェニル-2-(4-ヒドロキシフェニル)プロパン]

官報公示整理番号	4-122	官報公示名称	4-(α , α -ジメチルベンジル)フェノール
----------	-------	--------	---

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	HPLC
	0 (-8, -8)%		7%

備考

*分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示した。

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

LC50値(96hr)	魚種
1.6mg/L	(1.6)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)	
標準	60日間	コイ	開始前	終了後
			3.5	4.1

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	10 μ g/L	123 ~ 187
第2濃度区	1 μ g/L	69 ~ 190

備考

[定常状態における濃縮倍率]

総合検索システムへ
[599-64-4](#)

[前画面に戻る](#)

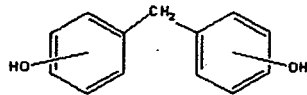
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
4, 4'-メチレンジフェノール、2, 4'-メチレンジフェノール及び2, 2'-メチレンジフェノールの混合物 [官報公示整理番号:4-90] [CAS番号:1333-16-0]	平成15年10月14日	難分解性であるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	1333-16-0
点検対象物質名称	ジヒドロキシジフェニルメタン[別名:ビスフェノールF]

官報公示整理番号	7-903	官報公示名称	フェノール、クレゾール又はジメチルフェノール・ホルムアデルヒド重合合物
----------	-------	--------	-------------------------------------

備考

・濃縮性については、類似物質4-ヒドロキシジフェニルメタン(3-0547)、4, 4'-ジヒドロキシジフェニルメタン(4-0080)の結果から確認。

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD
	0%

直接測定	HPLC
	1%

総合検索システムへ
1333-16-0

前画面に戻る

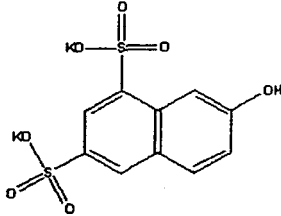
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
7-ヒドロキシ-1,3-ナフタリンジルスルホン酸カリウム塩	昭和53年12月12日	濃縮性が無い又は低いと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	842-18-2
点検対象物質名称	7-ヒドロキシ-1,3-ナフタリンジルスルホン酸カリウム塩
官報公示整理番号	4-498
官報公示名称	2-ナフトールジルスルホン酸塩 (Na, K)

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	UV-VIS	HPLC
	0%		*(-)%	*(-)%	*(-)%

備考

*負の値を得たので(-)とした。

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	濃度	魚種
>1000ppm	(1000)mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1ppm	<0.1
第2濃度区	0.1ppm	<1

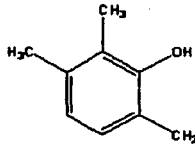
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
2, 3, 6-トリメチルフェノール [官報公示整理番号:9-899]	平成14年3月26日	難分解性と判断される物質
2, 3, 6-トリメチルフェノール [官報公示整理番号:3-540, 4-57, 9-899] [CAS番号:2416-94-6]	平成15年1月17日	難分解性ではあるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	2416-94-6
点検対象物質名称	2, 3, 6-トリメチルフェノール
官報公示整理番号	官報公示名称
3-540	トリアルキル(又はアルケニル, C=1~4)フェノール
4-57	ポリ(1~3)アルキル(C=1~3)ポリ(1~3)ヒドロキシポリ(1~5)フェニル
9-899	トリメチルフェノール

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	1%		6%	5%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	分配係数試験

n-オクタノール/水分配係数

最小	最大	平均	試験方法
2.72	2.75	2.73	フラスコ揺とう法

総合検索システムへ
2416-94-6

前画面に戻る

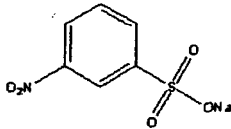
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
m-ニトロベンゼンスルホン酸ナトリウム	昭和53年12月12日	濃縮性が無い又は低いと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	127-68-4
点検対象物質名称	m-ニトロベンゼンスルホン酸ナトリウム塩

官報公示整理番号	官報公示名称
3-2006	ニトロベンゼンスルホン酸ナトリウム

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD
	0%

直接測定	TOC	UV-VIS
	4.6%	.1%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
>1000ppm	(1000)mg/L ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	1.0ppm	<0.5 ~ 1.6
第2濃度区	0.1ppm	<5

総合検索システムへ
127-68-4

前画面に戻る

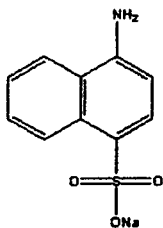
既存化学物質安全性点検データ

データの説明 分解性 濃縮性

経済産業公報公表名称	経済産業公報公表年月日	経済産業公報公表内容
ナフチオン酸ナトリウム	昭和52年11月30日	分解性が良好でない判断される物質
ナフチオン酸ナトリウム	昭和52年11月30日	濃縮性が無い又は低いと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	130-13-2
点検対象物質名称	ナフチオン酸ナトリウム
官報公示整理番号	4-492
官報公示名称	1-ナフチルアミノスルホン酸ナトリウム塩

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	2週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	UV-VIS
	0%		*(-)%	0%

備考

*負の値を得たので(-)とした。

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)		魚種
>4000ppm	(4000)mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種
標準	6週間	コイ

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	10ppm	<0.6
第2濃度区	1ppm	<6